

平成 27 年度事業計画案

(平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで)

はじめに

公益社団法人関西吟詩文化協会は、創立以来 82 年目を迎えます。「詩吟そのものが公益である」と認められ、国の伝統技芸のひとつとして、国民の精神文化の向上発展に寄与しているとして、公益社団法人の認定を受け、本年は 4 年目を迎えることとなります。本会創立以来の長い歴史の積み重ねを振り返り、改めて、誇りをもって吟詠活動に努めるとともに、「温故新生」(継承への更なるチャレンジ) というスローガンのもとに、勇気をもって課題に挑戦して参りたいと思います。

吟界は、吟詠人口の減少と愛好者の高齢化という大変厳しい環境にあり、本会も例外ではありません。本年は、本会のあるべき姿を考える「潮目の年」を迎えているといえましょう。10 年後、20 年後を考える時「人材の育成」なしには、関西吟詩文化協会の明日を語ることは出来ません。本年、総本部では、新たに「指導者養成講座」を全国で開設し、新指導者及び青年部員の活性化に努力して参りたいと思います。

各会の創設者の御苦勞を今一度顧みて、本会の会訓「一生初心」に立ち返り、誇りと自信をもって吟詠活動に励みましょう。

総本部では、関西吟詩文化協会の将来を見据え、会・支部・教場がより活性化することを願い、各施策を真摯に実施してまいります。多種多様な社会的課題に取り組む、本会の公益活動が果たすべき役割は、今後益々重要になってまいります。勇気をもって、未来に向かってチャレンジして参りましょう。

【平成 27 年度基本方針】

スローガン

『温故新生』 (継承への更なるチャレンジ)

最重点目標

1. 会員増員対策の更なる展開
 - ① 新入会目標 1,600 人 (現状を維持する為に要する人数)
 - ② 一支部一教場の開設
2. 指導者養成講座の開設

重点課題

- 1、 新指導者養成講座の開設。本年は、昇段昇格制度改訂など、一連の中期課題がスタートする年であり、10年後を視野に入れた再生活動、特に人材育成に総力を挙げて取り組みたい。
 - (1) 指導者の養成の為の指導者養成講座の開設・カリキュラムやテキストを充実させる
 - (2) 新教場開設の促進（助成等の実施）
 - (3) 不特定多数の人に吟詠の良さを知らせるための吟詠普及推進事業の継続実施
 - (4) 吟詠啓発活動推進
 - (5) 幼少年・青年部活動の充実
 - (6) メディア活用による吟詠普及活動の実施

- 2、 地方活性化と地区連合会組織の確立・連携強化
 - (1) 地区連合会と総本部との連携強化
競吟大会予選経費の本部予算への連結計上実施
 - (2) 地区連合会における指導者養成講座の開設
 - (3) 地区青年部組織の確立と活性化支援

- 3、 健全な財務体質確立を目指した中期計画課題の具体的検討
 - (1) 各種事業の抜本的見直し。公益事業、収益事業の事業量のバランス改善検討
 - (2) 会員数・昇格昇段者数の将来予測と収入見通しの検討
 - (3) 固定費圧縮を含めた経費計画の見直し（事務量削減策の実施）
 - (4) 師範以上の会費値上げの検討
 - (5) 会館建設積立金の方向づけの再検討

- 4、 公益法人移行に基づく体制整備のレベルアップ
 - (1) 公益法人に求められている合法的、合理的、透明性の高い運営実施
 - (2) 内部運営規約の完備及び事務局整備（公益業務改善委員会）
 - (3) 情報公開の促進（ホームページ・吟詩日本の有効活用）

- 5、 更なる課題への取り組み
 - (1) 教本改定活動の継続実施（27年度4月より順次）
 - (2) 人材の育成（将来の幹部養成）
 - (3) 役員定年制改定案の検討(地区連合会・外郭団体との関係)
 - (4) 吟詩日本の全員配布の取り組み(経費捻出策の検討)、内容の見直し、

今後の方向付け

(5) 事務業務の合理化

(コンピューターシステムの改訂と業務の合理化)

6. 災害支援活動の継続

平成 27 年度事業計画

自：平成 27 年 4 月 1 日～至：平成 28 年 3 月 31 日

1. 公益目的事業

本会は、詩歌吟詠をより多くの人々に普及する為に、次の事業を行う

公益目的 1 伝統芸能である詩歌吟詠の普及推進事業

(1) 吟詠普及推進事業吟詠大会（一般来聴公募）

関西吟詩の優れた吟詠を披露し、吟詠のすばらしさを、広く不特定多数の方々に紹介し、吟詠の普及を図る。又地区事情に合わせて、新指導者の研修を組み込む。

① 吟詠普及推進吟詠研修大会（一般来聴公募）

- ・吟詠普及研修会兼推薦師範講習会・・・平成 27 年 6 月 14 日（日）
於 エーリック(尼崎)
約 400 名参加(内一般会員他 150 人)
- ・九州地区大会・・・平成 27 年 6 月 28 日（日）
約 250 人参加予定(内一般会員他 100 人)
- ・岡山地区大会・・・平成 27 年 8 月 23 日（日）
約 200 人参加予定((内一般会員他 70 人)
- ・四国地区大会・・・平成 28 年 2 月 28 日（日）
約 200 人参加予定(内一般会員他 70 人)
- ・京滋福井地区大会・平成 28 年 2 月 7 日（日）
約 200 人参加予定(内一般会員他 70 人)
- ・東海地区大会・・・平成 28 年 2 月 21 日（日）
約 300 人参加予定(内一般会員他 100 人)
- ・和歌山地区大会・・・平成 28 年 2 月 予定
約 200 人参加予定(内一般会員他 70 人)
- ・西中国地区大会・・・平成 28 年 3 月 27 日（日）
約 250 人参加予定(内一般会員他 100 人)

(2) 吟詠普及推進事業・記念大会

- ・吟詠普及推進事業チャリティ吟詠大会・大阪（一般来聴公募）
平成 27 年 10 月 11 日（日）
於 サーティーホール(大東市)
約 1000 人参加(内一般会員他 400 人)
新指導者コーナーの設置
- ・各公認会等の記念大会等への後援
- ・新春吟詠普及大会

(3) 吟詠普及啓発活動の実施

- ① 青少年及び教育関係等に対する講師の派遣。
 - ・小中学での課外授業への積極的参加
 - ・公認会などでの青少年詩吟教室開催への講師の派遣
 - ・幼児、児童、生徒（義務教育）向け教本の提供
- ② 福祉施設・地域公民館活動に於ける吟詠普及活動の推進
- ③ 学校・図書館などへの吟詠資料提供。
 - ・公的図書館及び学校の図書館に「教本」・「吟剣詩舞の DVD」の提供
- ④ 他の文化団体とのコラボレーションへの積極的な参加
- ⑤ 路上ライブなどへの積極的参加

(4) 吟詠普及啓発活動助成事業

前(3)項の各推進活動に対して、一定限度内で助成を行う。

(5) 全国幼少年青年部吟詠大会（一般来聴公募）

平成 28 年 3 月 21 日（祝） 於：未定
約 500 名参加予定（内幼少年 70 人・青年部 100 人）

(6) 電磁的公報、機関誌発行

- ① 吟詠普及の為のテレビ放映の実施
 - ・J:COM(有線放送) 「幼少年青年部吟詠大会」の放映。
(ビデオオンデマンドにて放映)
 - ・サンテレビ
- ② ホームページでの吟詠普及
 - ・漢詩紹介・吟詠コーナー・動画コーナーを拡充し広く吟詠を紹介する。
 - ・特に若年層向けコーナーを設置し、幼少年・青年部の活動を 紹介する。
- ③ 機関誌「吟詩日本」を発行（一般販売）
 - ・漢詩和歌の紹介、作詩法、応募の自作詩の掲載
 - ・「吟詩日本」発行 (169号、170号、171号、172号)
 - ・「吟詩日本」特別号発行（正会員、準会員への無料配布）

(7) 教本発行（一般販売）

- ① 教本冊子頒布
 - ・教本絶句編 6冊(180題)
 - 単行本 A61～A64 4冊(12題)
 - ・教本律詩編 B1～B3 3冊(90題)
 - 単行本 B31～B33 3冊(9題)
 - ・教本古詩編 C1～C3 3冊(65題)
 - ・教本和歌・俳句・新体詩 D1 1冊(30題)
 - 単行本 D15 1冊(3題)

- ・教本副読本(アクセント入り)
 - 4句詩編 1冊
 - 6・8句詩編 1冊
 - 長詩編 1冊
 - ・教本縮刷本
 - A (絶句編)
 - B (律詩編)
 - C (古詩編)
 - ・新教本発行
 - 初級編 1冊(20題)
 - 4句詩編(その一) 1冊(60題)
 - 和歌 D-16 1冊(3題)
 - 漢詩 A-65・66 2冊(6題)
- ②「たのしい吟詠」の配布 (無料提供用教材)
- ・学校・福祉施設・地域公民館活動などでの吟詠普及活動用教本 (ドレミファの譜面付)

(8)海外移動教室の開講

- ・中国研修(漢詩の世界探訪)
 - 平成27年10月13日～18日(予定) 参加者 約30名

(9)災害復興支援活動の実施

- ・災害復興義援金の募集活動継続実施 (各事業毎に呼びかける)

公益目的2 詩歌吟詠の技能向上を図り継承発展に寄与する事業

(1) 競吟大会の開催 (一般来聴歓迎)

- ① 全国新人中間層競吟大会
 - 平成27年11月15日(日)
 - 於 エーリック(尼崎)
 - 参加者 800名 出吟者 300名
- ② 全国準師範師範代指導者級吟士権大会
 - 平成27年12月13日(日)
 - 於 現代劇場(高槻)
 - 参加者 800名 出吟者 210名
- ③ 全国競吟大会予選大会
 - 大阪地区大会・九州地区大会・西中国地区大会(広島・三原)
 - 四国地区大会・兵庫地区大会・奈良地区大会・和歌山地区大会
 - 京都地区大会・滋賀地区大会・東海地区大会

(2) 昇段試験、昇格試験および研修会の実施

- ・内部規定に基づき昇段試験を行い合格者に段位を授与する。
 - ・内部規定に基づき師範代・準師範・師範の昇格試験を実施し合格者に指導者としての資格を授与し、吟詠の普及活動に従事する。
- ① 昇段試験は内部規定に基づき、一次審査は各公認団体毎に実施し、

二次審査は総本部において実施し、会長が認定する。

平成 27 年 7 月 1 日 昇段免許授与

平成 28 年 1 月 1 日 昇段免許授与

② 地方昇格試験および研修会を実施する(師範・準師範・師範)

福岡試験場 6 月 28 日

広島試験場 6 月 28 日

名古屋試験場 6 月 28 日

③ 昇格試験及び研修会実施 (総本部試験場)

師 範 7 月 5 日

準師範 7 月 19 日

師範代 7 月 26 日

(昇格試験に合格したものには、9 月 1 日付で、9 月 13 日の東明祭において免許状を授与する)

(3) 研修会の開催

吟詠指導力の向上の為、専門講師を招き科学的発声法・作詩法・関西吟詩文化協会の吟法・指導方法などの研修を行う。

① 吟詠普及推進研修会

公益目的事業 1・詩歌吟詠の普及推進事業に合わせ、以下の地区において、吟詠普及推進研修会を行う

- ・吟詠普及推進研修会兼推薦師範講習会・・・平成 27 年 6 月 14 日 (日)
於 エーリック(尼崎)
約 400 名参加(内一般会員他 150 人)
- ・九州地区大会・岡山地区大会・四国地区大会・京滋福井地区大会
- ・名古屋地区大会・浜松地区大会・和歌山地区大会・西中国地区大会

② 指導者研修会

- ・推薦師範講習会・・・平成 27 年 6 月 14 日 (日)
於 エーリック(尼崎)
- ・本部研修会(平成 28 年度師範昇格試験課題詩講習)
平成 27 年 9 月 6 日(日)
於 エーリック(尼崎)
吟詠 6 題 和歌 3 題 約 400 人参加
- ・本部研修会(平成 28 年度準師範師範代昇格試験課題詩講習)
平成 27 年 11 月 22 日(日)
於:エーリック(尼崎)
律詩 8 題 絶句 10 題 約 400 人参加
- ・新教本講習会
平成 27 年 5 月 10 日(日) 於:エーリック(尼崎)
和歌 3 題 約 400 人参加
平成 27 年 9 月 13 日(日) 於:エーリック(尼崎)
四句詩 6 題 約 400 人参加

③ 吟道大学講座の開講

- ・平成 28 年 1 月 30 日～31 日 於: パナリゾート大阪
- ・漢詩、作詩法、発声の学理・指導者の心構え・組織運営と活性化等の研修 参加者 約 150 人

③ 新指導者養成講座の開設

○総本部コース

- ・開催回数 年間 6 回
- ・受講者数 50 名

○地方コース

- ・開催回数 1 回/ 年/ 地区
- ・受講者数 30 名
- ・会場

東京地区・浜松地区・名古屋地区（三重含）・滋賀地区（福井含）
岡山地区・広島地区・山陰地区・四国地区・九州地区（福岡・鹿児島）

④ 作詩講座（一般公募）

作詩の講座を開催し、広く一般の方にも作詩を広めるとともに作詩技量の向上を図る。

- ・毎月第 2 金曜日 午後 6 時～8 時 00 分迄
- ・年 12 回（前期、後期に分けて）
- ・於 総本部 会議室 参加者数 延 約 600 名

⑤ 作詩添削

一般の方々にも呼びかけ、自作の漢詩を作詩の専門家による添削などの指導を行うとともに自作漢詩を機関誌に掲載し、作詩技量向上をはかる。

- ・ 4 回/年 延 参加者数 400 名

⑥ 漢詩鑑賞講座（一般公募）

漢詩鑑賞の講座を開催し、漢詩・作者と歴史背景から広く一般の方にも漢詩を広めようとするもの。

- ・ 2 カ月 1 回 午後 1 時～4 時 00 分迄
- ・ 年 6 回
- ・ 於 総本部 会議室 参加者数 延 約 400 名

(4) 研究会

時代に受け入れられる吟詠を目指し、吟詠法の研究を行うとともに、新しい教本を発行する。又、各種研修会の内容の充実を図り、吟詠芸術を探求するなどの研究を行う。

- ・教養指導部指導科会 毎月 1 回以上
- ・教養指導部教養科会 6 回/年以上
- ・秀詠グループ吟詠研究会 6 回/年以上
- ・教本改訂委員会 12 回/年以上
- ・新指導者養成講座運営委員会 12 回/年以上

(5) 部会・委員会

不特定多数の人に対して、広く、吟詠に関する調査・研究の成果および吟詠普及活動のための公報活動を行う

- ・ 広報部 12 回/年
- ・ ホームページ委員会 12 回/年

吟詠普及推進事業の企画運営を行うとともに、将来の課題に対し、対策案を提言する。

- ・ 企画事業部 12 回/年
- ・ 青年部 12 回/年

(6) 委員会

会員及び不特定多数の人への吟詠普及活動をより円滑に行う為委員会を設置する。

- ・ 作詩添削委員会

2. 収益事業

収益1 主として会員向けに教材等を頒布する事業

吟詠普及活動の一助として参考図書・CD を頒布する。

(1) 参考図書販売

- ①漢詩詳解
- ②誰にでもできる漢詩の作り方 (太刀掛呂山著)
- ③作詩便覧 宮崎東明編
- ④作者便覧 日本編 関西吟詩文化協会発行
中国編 関西吟詩文化協会発行

(2) CD の頒布

- ①俳句新体詩伴奏曲編
- ②和漢名詩選(1) (既存)
- ③和漢名詩選(2) . . . (既存)
- ④和漢名詩選(3) . . . (既存)
- ⑤和漢名詩選(4) . . . (既存)
- ⑥本部指導者研修会収録編
- ⑦国歌・関西吟詩会歌伴奏編

(3) DVD の頒布

- ①李白
- ②坂本龍馬
- ③勝海舟
- ④西郷南洲
- ⑤高杉晋作
- ⑥テレビ放映分「そして白虎隊へ」

収益 2 吟詠の技量審査による段位認定並びに資格認定合格者に認定証(許證)を
交付する事業

(1) 昇段・昇格認定証(許證)交付事業

① 昇段免状授与

所定の昇段試験に合格した者に対し免状を授与する。

平成 27 年 7 月 1 日

平成 28 年 1 月 1 日

② 昇格資格者への免状の授与 (師範代・準師範・師範)

所定の昇格試験に合格した者に対し免状を授与する。

平成 27 年 9 月 1 日

③ 特別昇格 (上師範・高師範・総師範・宗範)

所定の昇格資格に従って特別昇格の免状を授与する。

平成 27 年 9 月 2 日

(2) 記章の販売

「宗帥・宗範・総師範・高師範・上師範・師範・準師範・師範
代・会員」バッチの販売

3. 相互扶助事業

その他 1 宮崎東明回忌法要及び詩吟関係の功労者等顕彰事業

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| (1) 東明祭の開催 | 平成 27 年 9 月 13 日 (日) |
| (2) 会員増員表彰 (個人、支部、会) | 於 東明祭 平成 27 年 9 月 13 日 (日) |
| (3) 敬老祝、成人祝 | 於 東明祭 平成 27 年 9 月 13 日 (日) |
| (4) 功労者等顕彰の実施 | 於 東明祭 平成 27 年 9 月 13 日 (日) |
| 表 彰 吟功章 | (上師範、高師範、総師範、宗範) |
| 特別昇格 | (上師範、高師範、総師範、宗範) |
| 特別功労章 | (宗 帥) |

4. その他の事業 (法人会計事業)

当協会の事業目的達成を円滑に推進する事業

- (1) 定時総会の開催
平成 27 年 6 月 6 日 (土) 於:大東市民会館(大東市)
- (2) 代議員選挙 (平成 27・28 年度代議員選出選挙)
告 示 平成 27 年 1 月 15 日(木)
立候補受付 平成 27 年 2 月 1~10 日
選 挙 平成 27 年 3 月 1~10 日
- (3) 各種会議
- ① 総会
 - ② 役員会(正副会長会、理事会、)
 - ③ 元老・相談役・参与会議
 - ④ 部 会 (総務部・財務部)

- ⑤ 懇談会
 - 教育関係者懇談会
 - 会員増員被表彰者懇談会
 - 青年部員懇談会
 - 都府県連合会代表者会議
 - 都府県連合会連絡協議会
- ⑥ 教本改訂委員会
- ⑦ 組織活性化委員会
- ⑧ 公益業務改善委員会
- ⑨ 指導者養成講座運営委員会
- ⑩ その他特定検討委員会

以上